

# 財務の状況

## 収支状況等

収支状況について、平成22年3月期は、政府の緊急経済対策等を受け、セーフティネット貸付等の実行に努めた結果、1,690億円の経常収益を計上しました。一方で、依然として厳しい経済環境のもと、個別貸倒引当金の繰入に加え、中小企業金融円滑化法の施行による貸出条件緩和債権の増加を反映した一般貸倒引当金の繰入も多額となり、与信関係費用を862億円計上したこと等により、2,182億円の経常費用を計上しました。この結果、特別損益を含めた当期純損失は500億円となりました。

財務状況について、出資金1,651億円の受入および当期純損失500億円の計上により、純資産の部は2,662億円となりました。

### 損益計算書

(自平成21年4月1日至平成22年3月31日/単位:百万円)

科目	金額
経常収益	169,007
資金運用収益	161,279
役務取引等収益	89
政府補給金収入	6,877
その他経常収益	760
経常費用	218,244
資金調達費用	60,611
役務取引等費用	1,099
その他業務費用	221
営業経費	70,107
その他経常費用	86,204
経常利益(または損失)	▲49,237
特別利益	78
特別損失	939
当期純利益(または損失)	▲50,098

### 貸借対照表

(平成22年3月31日現在/単位:百万円)

資産の部		負債および純資産の部	
科目	金額	科目	金額
現金預け金	24,843	借入金	5,751,324
買現先勘定	22,983	社債	1,039,402
貸出金	7,141,568	その他負債	19,718
その他資産	14,061	賞与引当金	3,046
有形固定資産	114,470	役員賞与引当金	6
無形固定資産	3,416	退職給付引当金	120,616
貸倒引当金	▲120,993	役員退職慰労引当金	20
		負債の部合計	6,934,135
		資本金	626,625
		資本剰余金	181,500
		利益剰余金	▲541,908
		純資産の部合計	266,216
資産の部合計	7,200,351	負債および純資産の部合計	7,200,351

## リスク管理債権の状況

平成21年度末における当事業のリスク管理債権は、6,528億円(貸出金残高に対する比率は9.1%)でした。このうち、貸出条件緩和債権が71%と過半を占めています。これは政策金融機関として、お客さまの実態に応じて返済条件を緩和し、経営の立て直しや企業再生を後押ししていることによるものです。

### リスク管理債権の状況

(平成21年度末/単位:億円、%)

	金額	貸出金残高に対する比率
破綻先債権	406	0.6
延滞債権	1,466	2.1
3ヵ月以上延滞債権	1	0.0
貸出条件緩和債権	4,654	6.5
リスク管理債権合計	6,528	9.1
貸出金残高	71,415	100.0

(注)数値については部分直接償却後の金額を記載しています。